

第16回書道パフォーマンス甲子園
(全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会)
本戦演技規則

1. 演技準備について

- (1) 用紙は4m×3m10cmの坪量180g・片つやさらしクラフト紙2枚を貼り合わせた概ね縦4m×横6mの揮毫用紙を使用する。
- (2) 本戦出場校は、大会前日に主催者が用意した用紙を指定の場所で2枚貼り合わせ、自校が使用する揮毫用紙を準備する。揮毫面の選択は自由とする。
- (3) 演技開始前に揮毫用紙への一切の下書き、折目等の加工を行ってはならない。ただし、作品掲示するための加工(裏面にポールを差し込む袋の貼付けなど)は行うことができる。
- (4) 作品掲示に使用するステンレスポール4本(用紙両端2本、掲示補助用2本)は主催者にて準備するが、演技に必要な筆や墨、小道具などの道具類は各校で準備する。なお、作品掲示の際、主催者が用意したステンレスポール以外の物も使用することができる。
- (5) 演技に使用する道具類は、パフォーマンス計画書に記載し、主催者の確認を得る。ただし、準備や撤去に時間を要する恐れがある時や、大会の進行に大きな影響を与える恐れがある時は、その道具類の使用を認めない。
- (6) 衣装は高校生らしい公序良俗に反しないものとする。
- (7) 使用する音源は、2曲以上の音楽を使用する場合も必ず1トラックに編集し、WAVもしくはMP3形式として、1枚のCDで提出する。
- (8) 使用する音源は、「音楽使用に関するお願い<本戦>」に基づき確認された音楽等を使用する。著作権等の関係で使用できないと認める時は、変更を求めることがある。

2. 演技について

- (1) チームの編成は選手12名と補員3名の計15名以内とし、当日8時までに選手と補員の入れ替えの申し出を受付まで行った場合は変更を認める。ただし、選手の入替について、やむを得ない理由がある場合はこの限りではない。
- (2) 演技の参加人数は選手登録している2名から12名とする。補員3名について、演技中は演技スペースへの立入りを禁止する。
- (3) 入場から演技開始までの準備は、2分以内で行うよう努める。準備や片付けの時間短縮のために、部員等が準備等に加わることができる。
- (4) 演技は「お願いします」の発声で開始し、審査員への作品掲示を行った後、「ありがとうございました」で終了する。なお、作品掲示は作品を審査員へ向けてほぼ垂直に立てた状態をいう。

- (5) 演技場の大きさは参考資料のとおりとし、演技は白色カーペットより内側で行う。演技中、白色カーペットに立ち上がった場合は罰則の加点は行わないが、回数は確認の上審査員へ報告する。白色カーペットより外側に出た場合は、審判が赤旗を掲げ、罰則の加点を行う。
- (6) 揮毫用紙に別用紙等の貼り付けは行ってはならない。ただし、事前に準備した落款は揮毫用紙へ貼り付けることができる。また、貼り付けを行わない型紙等は使用することができる。
- (7) 霧吹きやはけ等を使用することができるが、カラスプレー缶は使用してはならない。
- (8) 演技終了後、周囲の観客席へ作品の披露を行こととするが、この時間は演技時間に含まない。

3. 演技時間の計測について

- (1) 演技時間は審査員への作品掲示時間 15 秒を含め 6 分以内とし、それを超えた場合は罰則の加点を行う。
- (2) 演技時間の計測は「お願いします」の言い終わりから開始し、「ありがとうございました」の言い終わりまで終了する。それぞれの計測基点で計測員が白旗を掲げる。2 回続けて発声する場合は、2 回目の言い終わりを計測基点とする。
- (3) 演技開始の発声以前に音楽のスタートやパフォーマンスの動きがある場合は、その時点を計測の基点とする。ただし、この場合は、事前にパフォーマンス計画書にその旨を記載する。
- (4) 審査員への作品の掲示時間は、作品がほぼ垂直に立てられた時点から時間を計測し、15 秒とする。計測開始と同時に計測員が黄旗を掲げ、15 秒が経過した時点で黄旗を下ろす。
- (5) 審査員への掲示時間が 15 秒に満たず、作品の状態が大きく崩れたときは、掲示時間の計測を一時停止し、作品を再度立て直した時点から残りの時間を計測する。
- (6) 掲示の際に作品が破損した場合についても、審査員への掲示は行い、作品の掲示時間 15 秒は計測する。
- (7) 演技終了の発声は、作品を立てた状態でも、下ろした状態でもかまわない。
- (8) 開始や終了の発声の時、また演技終了後においてパフォーマンスや揮毫を行ってはいない。また、審査員への掲示時間中は、揮毫を行ってはいない。

4. 罰則事項

- (1) 演技時間が 6 分を超える場合は、10 秒毎に順位点に 8 点加点する。
- (2) 白カーペットの外へ出た場合は、1 件につき順位点に 8 点加点する。
- (3) 事前に提出しているパフォーマンス計画書と明らかに異なる演技や作品だった場合は、順位点に 8 点加点する。
- (4) 審査員への作品掲示がなかった場合は、順位点に 16 点加点する。
- (5) 審査員への作品掲示が 15 秒に満たなかった場合は、順位点に 8 点加点する。
- (6) 下記の場合は審査対象から除外する。
 - ・演技参加人数が 12 名を超えている場合
 - ・揮毫用紙に落款以外の用紙等の貼り付けを行った場合

・カラースプレー缶を使用した場合

(7) その他、違反があると認められる場合は、主催者で順位点への加点または審査対象から除外する。

5. その他

(1) 本戦の演技順は、実行委員会が抽選により決定する。

(2) 本戦出場校は、選手名を含む個人情報などについて、ホームページやパンフレットなどへの掲載、また報道関係等へ情報提供や取材等について承諾したものとする。また、大会で撮影した写真や動画等について、大会PR等のために使用することを承諾したものとする。

(3) 本戦の作品や演技内容は予選作品から変更することができる。

(4) 本規則の詳細等については、本戦Q&Aに記載する。

(5) 本規則を変更する時や記載されていない事項がある時は実行委員会で決定し、ホームページ等で公開する。

<参考資料>

